

## ウラジオストク滞在に関する報告について（5月分）

### 1. 4月の実施事項等について

---

- 10日～13日 富山県訪問団 ウラジオストク訪問
- 12日 第25回ウラジオストク日本語スピーチコンテスト
- 18日～20日 第22回太平洋国際観光博覧会

### 2. ロシア語学校について

---

学校の授業は先月と同様に行われ、私のクラスでは「文法」「会話」「読解」「ビデオ」「地域学」で構成されています。

5月に入り、授業内容を終え帰国する生徒や、新たに極東連邦大学に入学してくる生徒もいます。極東連邦大学附属ロシア語学校の外国人向け留学コースは、一年中どのタイミングでも入学することができ、クラス分けのための試験を受けた後、習熟度に応じて振り分けられます。習熟度やクラス編制に関しては柔軟に対応してくれるようで、各クラスに振り分けられた後でも教員と相談しながら自分に合ったクラスを選ぶことができます。

### 3. ウラジオストク市内の状況について

---

#### ・治安状況

今月、当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。気候的に暖かくなり、祭日などは多くの人が街中に集まるため、トラブルなどには気を付けなければなりません。

#### ・気 候

5月になって暖かくなってきましたが、夜になると冷え込み、コートが必要な日もあります。5月の中旬以降は気温が20度を超えるような暑いと感じる日があったかと思えば、息が白くなるような寒い日が突然やってきたりします。また、冬の間はロシアではセントラルヒーティングで建物を温めています。5月に入ると一斉に暖房が止まってしまいます。さらに5月の下旬には、冬に向けて温水設備の点検のため1週間ほどお湯が出なくなりました。寮の皆さんは叫びながら寮の冷水シャワーを浴びたり、お湯を求めて街中に行ったりしています。

・行事

●春と労働の祝日

5月1日は日本で言うところの旧メーデーに相当する祝日でした。例年市中心部と対岸地域を結ぶ「黄金橋」を車両通行止めにし、普段は歩けない橋が歩行者天国になっていましたが、近隣住民からの苦情により、今年度からは市内のスヴェトランスカヤ通りだけで行進が行われました。残念なことに今年は雨も降り、例年よりも参加者が少なかったようです。

●勝利の日

1945年5月9日にナチスドイツに勝利した日で、毎年町ごとに大々的な軍隊のパレードが行われます。ウラジオストクでも中央広場やスヴェトランスカヤ通りで軍事パレードが行われ、日本ではあまり見ることができない軍服姿の軍人の方達や、戦車や装甲車などの兵器も間近で見ることができました。夜中には市内3か所で花火が打ちあげられ、多くの人が祝日を楽しんでいました。



(写真1：勝利の日 軍事パレード)

#### 4. 富山県訪問団の訪露について

5月10日(木)～13日(日)まで、竹野博和理事・総合政策局次長をはじめとする富山県訪問団(計3名)がウラジオストクを訪れ、沿海地方商工会議所、沿海地方政府、在ウラジオストク日本総領事館、沿海地方観光情報センター、ウラジオストク国立経済サービス大学、極東連邦大学を訪問しました。富山県とロ

シア沿海地方は 1992(平成4)年8月に友好提携を締結しており、今年で友好提携 26 年目になります。友好提携以来、富山県と沿海地方の間では、沿海地方への県職員派遣、沿海地方からの県費留学生、海外技術研修員やロシア人国際交流員の受入れによる人的交流、ウラジオストクでの日本語スピーチコンテスト開催による日本語教育支援、その他、文化、スポーツ、経済、環境など、様々な分野で交流を行ってきました。表敬訪問先では、これまでの両県地方の交流を踏まえ、今後の更なる交流発展に向け互いの協力を確認し合いました。



(写真 2 : 表敬訪問)

## 5. 第 25 回ウラジオストク日本語スピーチコンテストについて

5月12日(土)、極東連邦大学附属図書館で、「第25回ウラジオストク日本語スピーチコンテスト」(主催:富山県、沿海地方政府、在ウラジオストク日本国総領事館/後援:ウラジオストク日本センター、ウラジオストク日本人会、富山ウラジオストク会)が開催されました。今回のコンテストには「児童・生徒の部」7名、「特別枠」4名、「大学生の部」6名の計17名が出場しました。「児童・生徒の部」出場者は、あらかじめ与えられたテーマ(「私と日本」)について3分間でスピーチを行い、「大学生の部」出場者は各自で選んだ自由テーマで、5分間スピーチを行いました。結果は以下のとおりです。

【児童・生徒の部】課題「私と日本」  
優勝 スイトワ ミラーナ

(ウラジオストク第51番学校9年生(日本の中学3年生に相当)、女性)

【大学生の部】 優勝

優勝 ガイドック・ポリーナさん(極東連邦大学2年生、女性)

発表テーマ「どうして今じゃないの」



(写真3:「大学生の部」優勝者ガイドック・ポリーナさん)

なお、「大学生の部」で優勝したガイドック・ポリーナさんには副賞として、富山県より富山研修旅行が贈られました。また、「大学生の部」で1位及び2位になった人には、秋にユジノサハリンスクで開催予定の「極東・シベリア学生日本語弁論大会」への出場権が与えられました。

## **6. 第22回「太平洋国際観光博覧会(PITE2018)」への出展について**

5月18日(金)～20日(日)、極東連邦大学キャンパス内にて開催された「第22回太平洋国際観光博覧会(PITE2018)」(主催:ロシア沿海地方政府観光局)に、富山県もブースを出展しました。この博覧会は、ロシア極東地域やアジア太平洋地域の観光、旅行業に携わる企業(旅行業者、航空会社、通訳業、ホテル、飲食店等)や自治体等がブースを出展し、観光情報の発信を行うとともに、地元の伝統芸能や特産品の紹介等を通して、観光・旅行業の発展を図るもので、例年5月に開催されています。今回の博覧会にもロシア国外から多くの国が出

展しており、日本からは富山県の他に秋田県と鳥取県が出展していました。富山県のことを全く知らない方にもブースに立ち寄っていただき、富山県の自然や食べ物、観光地等を紹介し興味を持っていただけました。



(写真4：博覧会様子（写真は富山県ブース）)



(写真5：博覧会様子（写真はカンボジアブース）)